土田浩翔 プロ最強位奪る

一次、二次、最終と3回の予選によって出場者を選びに選んだプロ最強戦。わずか16名に精選されたメンバーから優勝したのは、北海道のプリンスこと土田浩翔（プロ連盟A1リーグ）だった。

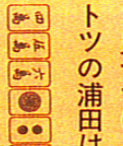
第9回 麻雀プロ最強戦

文 福地誠
撮影 マクス正木・寺内康彦

プロ最強戦のシステムは、ごぞんじサッカーのワールドカップ方式。8人ずつ2つの組にわけて、それぞれ上位4人ずつ準決勝に進出、さらに準決勝の2卓から2人ずつ決勝に進む。

【予選】

まず紅組から。ものすごい勢いで飛び出したのは浦田和子（以下敬称略）だった。2連勝。圧倒的なパワーの差を見せつける。1回戦オーラス、ダントツの浦田は6巡目、左の手牌。



切ったのが[白]。はやくも三色の決め打ちだ。しばらくして安藤満が[二萬]圧萬[八萬]待ちでリーチ。すぐに浦田もテンパイ。三色のカン[白]である。3メンチャン対カンチャンだが、勝ったのは浦田だった。振り込んだ安藤は浦田の手牌を見て、「はい……」と勢いの差をかみしめるように点棒を払う。

だがその安藤も2〜3回戦と連勝して安全圏に入った。この2人は早くも準決勝進出を決める。紅組の残り2人は若手の下山道男と金子貴行。

いっぽう白組、まず抜け出したのは飯田正人だった。